

氏 名：吉岡 なつ美
学 位 の 種 類：博士(看護学)
学 位 記 番 号：博看護第12号
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
学 位 論 文 題 目：妊娠後期から持続する骨盤底の困窮状況(Pelvic Floor Distress: PFD)に
関する研究
研究指導教員：米山 万里枝
研究副指導教員：廣田 栄子
論文審査委員：(主査) 佐々木 美奈子 (副査) 末永 由理
(委員) 李 廷秀 (委員) 岡垣 竜吾

論文審査結果の要旨

吉岡なつ美氏の博士論文は4名の審査委員によって、書面による審査及び口頭試問により厳正に審査された。

本報は、妊娠期から産後9か月までの骨盤底の困窮状況(Pelvic Floor Distress: PFD)および関連要因を調査し、今後の支援の在り方について提言を行う重要な研究である。

第1段階では、産後3か月の母親を対象とした調査で、妊娠後期、産後1か月、産後3か月におけるPFD症状の推移および属性との関連について分析・報告し、第2段階では産後9か月のデータ連結が可能な対象に絞り、妊娠後期から産後1か月、3か月、9か月の4時点の変化について多角的に分析・報告を行っている。

その後、第3段階では、産後3か月時点のPFDI高値に影響する要因を探索し、妊娠後期のPFDI高値が出産後9か月まで持続するPFDと関連があることを明らかにし、第4段階では産後9か月のPFDI高値を予測する、妊娠後期・産後1か月・3か月のPFDI値の病態識別値をROC解析により明らかにした。また、PFDI高値の妊産婦の専門職に相談した経験・骨盤底筋訓練指導を受けた経験から、適切な支援を受けられていないことが考えられ、妊娠期から積極的にアセスメントを行い支援を継続していくことが、女性の健康支援に重要であることを示した。

対象者数は多くないが、様々な地域の妊産婦からの協力を得て、縦断的データを取得した貴重な研究である。社会的意義も高く、「看護学博士の学位研究として認定できる」と判断した。

令和7年2月4日

論文審査委員(主査) 氏名 佐々木 美奈子